

# さまざまなジャンルとのコラボレーションで和太鼓文化を発信

## 早川太鼓

### 活動の目的

早川太鼓は、1987年に活動を開始し、今年30周年を迎えます。結成以来さまざまなジャンルで文化発信を行っています。地域のイベントやお祭、ワークショップそして本格的なコンサート等です。1997年より毎年定期公演や特別公演を開催（毎年2公演以上、これまでに49公演を開催）しており、大衆的な内容の演目ものから芸術的な内容の演目まで、幅広い公演を開催し和太鼓文化の発信を継続的に行っております。本年は結成30周年を迎え、大規模な野外公演を企画しております。今回の企画で、地域住民に和太鼓文化を提供し、更なる文化の発展に寄与することを目的としています。

### 活動の内容及び経過

公演ポスターとチラシの制作のため会場となる木山神社に数回足を運び、今回のイメージにあった撮影を行いました。「神域」からの芸術の発信をイメージしたカットの中から公演に合う写真を選び使用しました。チラシ内には「木山神社」についての情報も盛り込み、会場の歴史にもふれられるようにしました。和太鼓は日本古来より祭事を司る神社と深いつながりのある楽器なので真庭市木山神社の境内に特設舞台を設置しました。舞台づくりのため、公演5日前の8月29日から演奏者たちが設営を行いました。メンバーはすべて仕事を行いながらのため、設営と練習は夕方～深夜に及びました。

公演は平成29年9月3日（日）18時30分開演。公演時間は約2時間。結成30周年を機会に日本の神々をテーマとした新曲の創作と発表及び、それに伴う新演出による公演を開催しました。和太鼓は日本神話の天岩戸の場面でも桶を伏せて音を鳴らしたと伝えられています。まず神主による祝詞から神々の世界を紡ぎだしました。日本古来から受け継がれる形の太鼓演奏にはじまり、第2部では画期的でコンテンポラリーな演出を提案しました。クラシック音楽のアレンジ作品なども交え、和太鼓での演奏の可能性を探る公演を行いました。舞台演出は木山神社本堂にライトを設置、本堂がいろいろな色で浮かびあがり幻想的なものとなりました。助成金は公演費用（照明・音響）、舞台設置費用・印刷代・使用料（開催時の会場使用料他）で使用しました。

### 活動の成果・効果

これまで真庭市で毎年の定期公演開催をした実績から、和太鼓の演奏、新演目の発表を楽しみにする方々からの声も多少ですがあります。これまでに早川太鼓が発表した作



品は115作品を数えており、和太鼓文化への貢献が非常に高いと考えております。また県南からの来場者も毎回あり、この活動を地道に続けることが和太鼓文化への関心を高めると考えております。

今回の新曲及び演出によって、観客に日本の神話や日本の神々について感心を高められる公演を行い、子供から大人まで楽しめると共に知識を深められるコンサートを開催できたと考えます。

### 今後の課題と問題点

いままで数々のこだわった公演を行い続けているのですが、チケット販売には苦戦しています。より効果的はPR方法を見出したい。また楽器の購入及び修繕費、練習場使用料等の活動費、プレイヤーの高齢化、人材不足など数々の問題点を抱えながら活動をしています。

- 代表者：窪山博之 ●所在地：真庭市中島
- TEL：090-3370-4923
- 設立年：1987年 ●メンバー数：15名